

「第 16 回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム」の講演原稿募集

◆開催期日：2025 年 11 月 26 日(水), 27 日(木)◆

◆講演原稿申込締切日：2025 年 5 月 30(金)◆

土木学会（複合構造委員会）では、日本建築学会（鋼コンクリート合成構造運営委員会）との共催で、鋼コンクリート合成構造、混合構造、複合構造に関する研究成果の発表や情報交換を目的として、「第 16 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム」を開催します。

このシンポジウムは、1986 年の「第 1 回合成構造の活用に関するシンポジウム」を緒とし、2011 年（第 9 回）より 2023 年（第 15 回）まで隔年で開催しており、2025 年は第 16 回目の開催となります。

講演原稿を以下の要領で募集しますので、奮ってご応募くださいますようお願いいたします。

記

1. 主 催：日本建築学会（鋼コンクリート合成構造運営委員会），
土木学会（複合構造委員会）
2. 後 援：（予定）日本鋼構造協会，日本コンクリート工学会，日本材料学会
3. 開催期日：2025 年 11 月 26 日（水），27 日（木）の 2 日間
4. 会 場：日本建築学会 建築会館ホール
（〒108-0014 東京都港区芝 5 丁目 2 6 - 2 0 ）
※対面での開催となります。

5. 募集要領：

今回は建築学会が運営母体となります。建築学会のウェブサイトをご覧ください。

<http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s34/16-sympo/index.html>

上記ウェブサイトに記載された内容は以下となっています。

(1) 募集課題

①設計、構造解析に関するもの、②圧縮、曲げ、せん断、ねじりなど部材挙動に関するもの、③架構・骨組の挙動に関するもの、④付着、ずれ止めに関するもの、⑤異種部材間の連結・接合に関するもの、⑥実構造物への適用に関するもの、⑦複合・合成構造への新材料の適用に関するもの、⑧その他

(2) 申込方法

建築学会のウェブサイトの専用の **google forms** より次の事項をご記入ください。

①題目（和文・英文），②講演者氏名（連名の場合は発表者に○印を付ける）および所属など，③連絡先（氏名，電話，FAX，E-mail アドレス），④該当する募集課題番号（複数でもよい），⑤講演の内容概要（400 字以内）

講演の採否は、日本建築学会（鋼コンクリート合成構造運営委員会）が行います。

採否の結果は 6 月下旬までに E-mail にて連絡します。

講演者の人数が 6 名を超える場合は、日本建築学会鋼コンクリート合成構造運営委員会事務局（担当：城戸）にご連絡ください。

講演原稿申込時の原稿タイトル、著者の数、著者の順は、原稿投稿時に変更することはできません。

なお、シンポジウム参加費は、建築学会・土木学会正会員 7,000 円、後援団体会員 8,800 円、非会員 12,100 円、学生会員 4,000 円、学生非会員 4,400 円を予定しています。講演集への掲載料は無料ですが、上記参加費をお支払いのうえ発表していただくことが掲載の条件です。支払い方法は後日お伝え致します。また、一人あたりの講演発表数は 2 編までとさせていただきます。

6. その他：

(1) 表彰制度について：

土木学会複合構造委員会では、40 歳未満の講演者を対象として、研究内容に加えて講演内容が優れている場合に、表彰する制度を設けています。受賞者は、後日、複合構造委員会のウェブサイトにて氏名を発表するとともに、表彰状を送付します。

(2) 土木学会論文集特集号について：

土木学会複合構造委員会では、土木学会論文集特集号（複合構造）を発刊いたします。1 年に 1 回の定期的発刊を目指しており、第 1 巻を 2014 年 5 月に発刊しました。「第 16 回複合・合成構造に関するシンポジウム」における特に優れた講演の中から、討議等によりさらに内容が充実した論文を投稿していただき、査読を経た論文が本特集号（2026 年 6 月頃予定）に掲載されます。投稿要項などの詳細は、今後、複合構造委員会のウェブサイト上に随時公開いたします。シンポジウムでの講演内容をさらに多くの方々に対して情報提供できますので、ぜひこの機会をご利用下さい。なお、2023 年 5 月に発刊した巻から、シンポジウムでの講演とは異なるタイトルにすることなど投稿要領が改訂されておりますので、投稿にあたってはご確認をお願いします。

(<https://www.jsce.or.jp/committee/fukugou/A1SP.html>)

以上